

令和6年度 第1回 大阪府地域職域連携推進協議会

保健所圏域の地域・職域連携推進協議会の実施状況と 令和7年度の取組み（案）について

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課



Contents

- ① 保健所圏域の地域・職域連携推進協議会と健康寿命の状況について**
- ② 地域・職域連携推ガイドラインを踏まえた令和7年度の取組み（案）について**

① 保健所圏域の地域・職域連携推進協議会と健康寿命の状況について

①-1 地域・職域連携が必要とされる背景

健康寿命の延伸には、地域と職域の連携が不可欠で、地域・職域連携を進めることにより、
若年期からの継続した健康づくりを効果的・効率的に展開できる

■行政

- 健康日本21（第3次）ライフコースや集団の特性を踏まえた、多様な主体による健康づくり「誰一人取り残さない健康づくり」
- 産業保健を含めた地域全体のポピュレーションアプローチの強化
- 増大する医療費の適正化

■職域（保険者・事業所）

- 健診における有所見率の増加
- 女性、高年齢労働者、疾患を抱えた従業員などへの健康支援
- 健康経営の推進、データヘルス計画、コラボヘルスの推進

①-2 地域における地域・職域連携会議の実施について

大阪府では、地域における地域・職域連携を保健所単位で実施しているため、

地域・職域連携推進にかかる会議も国が示す二次医療圏単位ではなく、保健所単位で実施している

■面積 (令和3年4月 現在 ※1)

1905.32km²

■ 人口動態 (R3年)

人口	8,823,068人	(※1)
人口密度	4631人/km ²	(※1)
人口増減率	-0.34%	(※2)
高齢化率	27.7%	(※3)

うち政令・中核市
人口
6,099,289人
(69.1%)

■ 大阪府庁



■ 大阪府保健所

■市町村数 43

(保健所設置市) 

9か所

政令市：大阪市、堺市

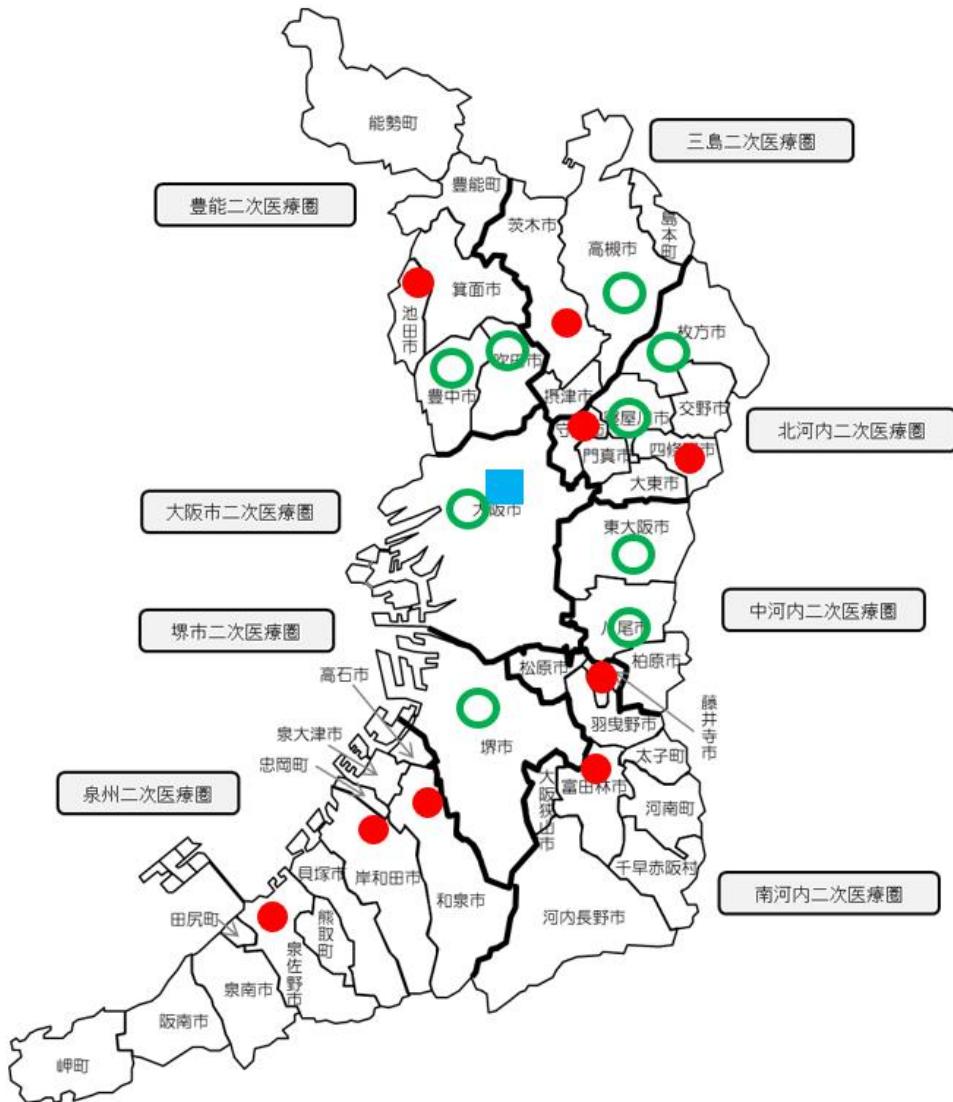
中核市：吹田市、豊中市、高槻市、寝屋川市
枚方市、八尾市、東大阪市

〈出典〉

※1 大阪府 推計人口（月報） 令和3年4月1日現在

※2 大阪府の推計人口 令和5年(2023年) 年報

※3 令和4年版高齢社会白書（全体版）



①-3 令和6年度スケジュール －保健所圏域における地域・職域連携推進事業－

令和6年度の新たな取組みとして、地域健康カルテを公表や、

有識者による介入支援を実施(東大阪市、岸和田保健所)等により、保健所圏域の事業を推進

凡例：大阪府

保健所、市町村

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大阪府	健康づくり課業務説明会			【新】地域健康カルテ公表								大阪府地域職域連携推進協議会
保健所												【新】ダッシュボード公表
市町村	政令中核市	明業くり健 務説課										
一般市												
保健所圏域地域・職域連携推進協議会の開催												
地域・職域連携推進にかかる取組												
地域・職域連携推進協議会への出席/職域との連携												
第1回 地域・職域連携推進連絡会												
第2回 地域・職域連携推進連絡会												

【モデル圏域での有識者による介入支援内容】

当該圏域の健康医療情報等一体的な分析等により、効果的・効率的な事業実施を支援

- (例)
- ・地域職域連携の推進等に資する健康医療情報のデータ分析と地域における課題の把握
 - ・地域資源の探索（フィールドワーク）の同行
 - ・地域職域連携推進に向けた分析手法の検討支援
 - ・地域職域連携推進にかかる事業実施の際に必要となる資料作成に関する助言
 - ・保健所圏域地域・職域連携推進会議及び関係会議（「関係者との意見調整の場」含む）等へのアドバイザーとしての出席 等

全ての府管保健所で地域・職域連携推進協議会が開催され、政令・中核市においても、5市で開催された

【凡例】◎：協議会+協議会以外開催、○：協議会のみ開催、●協議会以外のみ開催

区分	二次 医療圏	保健所等名	取組					取組数 (会議以外)			
			会議				実施	開催数 (合計)	開催数 (協議会)	開催数 (協議会以外)	
			実施	開催数 (合計)	開催数 (協議会)	開催数 (協議会以外)					
府管 保健所	01豊能	01池田保健所	◎	3	1	2	0				
	02三島	04茨木保健所	◎	2	1	1	2				
	03北河内	07守口保健所	◎	2	1	1	0				
	03北河内	08四條畷保健所	◎	3	1	2	4				
	04中河内/05 南河内	12藤井寺保健所	◎	2	1	1	3				
	05南河内	13富田林保健所	○	1	1	0	1				
	07泉州	15和泉保健所	◎	2	1	1	2				
	07泉州	16岸和田保健所	○	1	1	0	4				
	07泉州	17泉佐野保健所	○	1	1	0	3				
政令 ・ 中 核 市	01豊能	02吹田市	●	1	0	1	0				
	01豊能	03豊中市保健所	●	1	0	1	0				
	02三島	05高槻市保健所	●	1	0	1	1				
	03北河内	06寝屋川市	◎	2	1	1	5				
	03北河内	09枚方市	◎	2	1	1	4				
	04中河内	10八尾市保健所	○	1	1	0	1				
	04中河内	11東大阪市保健所	◎	3	1	2	0				
	06堺市	14堺市	●	1	0	1	4				
	08大阪市	18大阪市	○	1	1	0	0				
合計			18	30	14	16	34				

①-5 令和6年度 保健所圏域 地域・職域連携推進事業実績

地域・職域連携推進事業は、保健所圏域によって取組数・取組項目に差があるが、
府管保健所と政令・中核市において傾向に差はあまり見られない

区分	二次 医療圏	保健所等名	項目別取組数（会議・会議以外）																		
			栄 活 ・ 食 生	身 体 運 動 ・	休 眠 ・ 睡	休 養 ・ 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	健 診	が ん 検 診	重 症 化 予 防	□ 口 防 止	□ コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘルス リテラ シ ー ・ 気 運 體 成	H R 用 等 活 用	H R 備 用	社 会 環 境 整 理	健 康 經 營
府管 保健所	01豊能	01池田保健所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	
	02三島	04茨木保健所	4	3	2	2	3	2	3	2	3	2	3	0	1	0	0	4	0	4	2
	03北河内	07守口保健所	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	03北河内	08四條畷保健所	7	4	2	3	6	3	7	7	5	0	0	0	0	1	6	0	2	4	1
	04中河内/05 南河内	12藤井寺保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
	05南河内	13富田林保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	07泉州	15和泉保健所	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	1	0	4	4	0	3	4
	07泉州	16岸和田保健所	4	3	3	3	5	3	4	3	4	0	0	0	0	3	4	0	4	3	0
	07泉州	17泉佐野保健所	3	2	0	1	4	0	1	1	1	0	2	0	1	1	0	2	1	1	1
政令 ・ 中 核 市	01豊能	02吹田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0
	01豊能	03豊中市保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	02三島	05高槻市保健所	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	03北河内	06寝屋川市	4	3	0	0	3	2	5	7	4	0	0	0	0	6	0	2	2	2	0
	03北河内	09枚方市	6	6	4	4	6	6	6	6	6	4	4	4	4	6	3	6	6	4	0
	04中河内	10八尾市保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	04中河内	11東大阪市保健所	1	1	1	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	06堺市	14堺市	3	3	3	3	3	4	4	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	0
	08大阪市	18大阪市	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
合計			44	34	22	23	40	30	40	45	32	6	10	6	21	46	5	29	38	10	

①-6 府管保健所（9か所）の健康づくりにかかる令和6年度の取組状況①

地域・職域連携推進事業以外の健康づくりに関する取組みは、

多くの分野に取組んでいる保健所と特定の項目に取組んでいる保健所に二分されている

● 令和6年度 健康づくり関連事業実績報告 結果概要（地域・職域連携推進事業を除く）

二次 医療圏	保健所/ 政令中核市	令和6年度取組み分野																
		生活習慣病					早期発見			生活機能				社会環境				
		栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	健 診	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メン タ ル ヘル ス	シ ー ・ ヘル スリ テ ラ	I C T 等 活 用 （ P H R ）	社 会 環 境 整 備	
01豊能	01池田保健所	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
02三島	04茨木保健所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1
03北河内	07守口保健所	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
03北河内	08四條畷保健所	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
04中河内 /05南河	12藤井寺保健所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
05南河内	13富田林保健所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
07泉州	15和泉保健所	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1
07泉州	16岸和田保健所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
07泉州	17泉佐野保健所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8	6	4	5	6	3	6	5	3	2	3	2	3	3	1	3	

①-7 地域・職域連携推進連絡会について ー令和6年度ー

保健所圏域担当者向けに、地域・職域連絡会を2回開催し、

好事例の共有や有識者を交えた意見交換等を通じ、担当者が円滑に事業を実施できるよう支援

○地域・職域連携推進連絡会

(対象：府管保健所（9保健所）及び政令・中核市（9市）の地域・職域連携推進事業担当者)

第1回

【開催日時】令和6年7月2日（火） 13時から17時

【内容】

- ・健康づくり課オリエンテーション
- ・有識者講演①「多角的なデータ分析と地域の課題・対策の検討」
(量的データから地域課題を明確にしていく際の留意点等)
- ・有識者講演②「質的研究手法を現場で取り入れるための知識」
- ・グループワーク 「地域・職域連携事業の取組を具体的に考えるグループワーク」

第2回

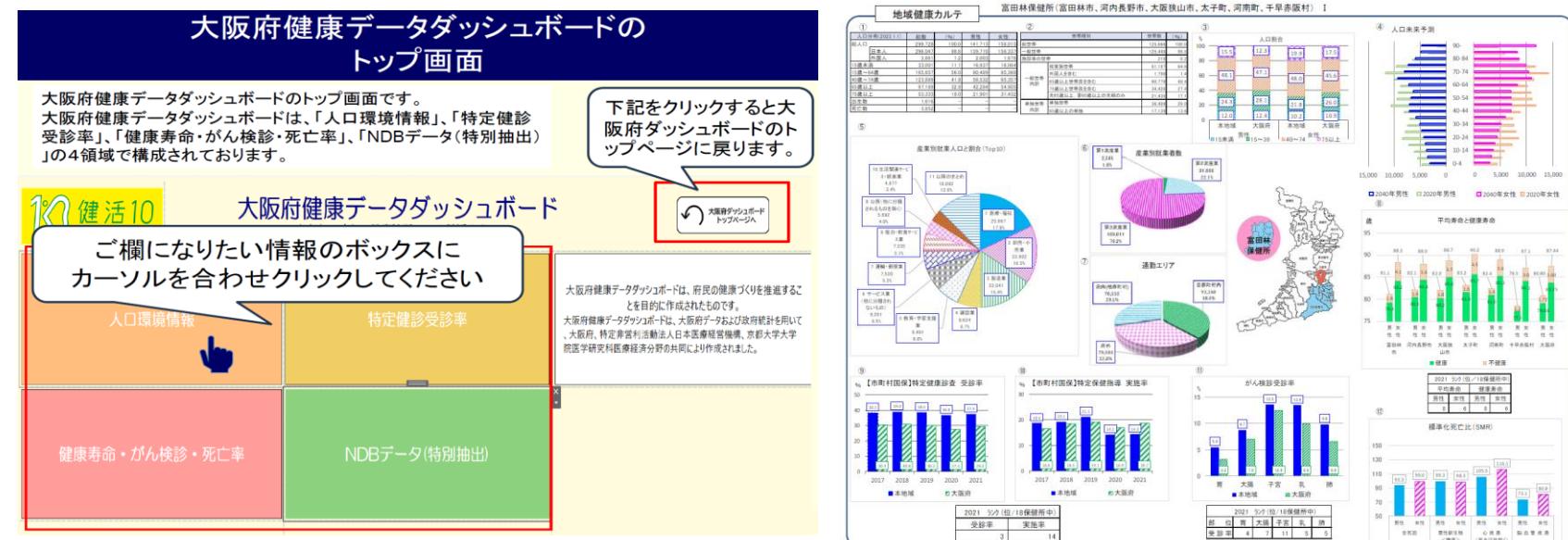
【開催日時】令和7年3月3日（月） 10時から17時30分

【内容】

- ・健康づくり課オリエンテーション
- ・有識者講演 誰もが取り組める「共創」の考え方-パーパスモデルを活かした実践-
- ・保健所等からの実践報告（3圏域）
- ・グループワーク テーマ①「令和6年度地域・職域連携事業の振り返り」
テーマ②「次年度の連携事業を具体的に考える」

<参考>地域の健康情報の見える化（「大阪府健康データダッシュボード」と「地域健康カルテ」の概要）

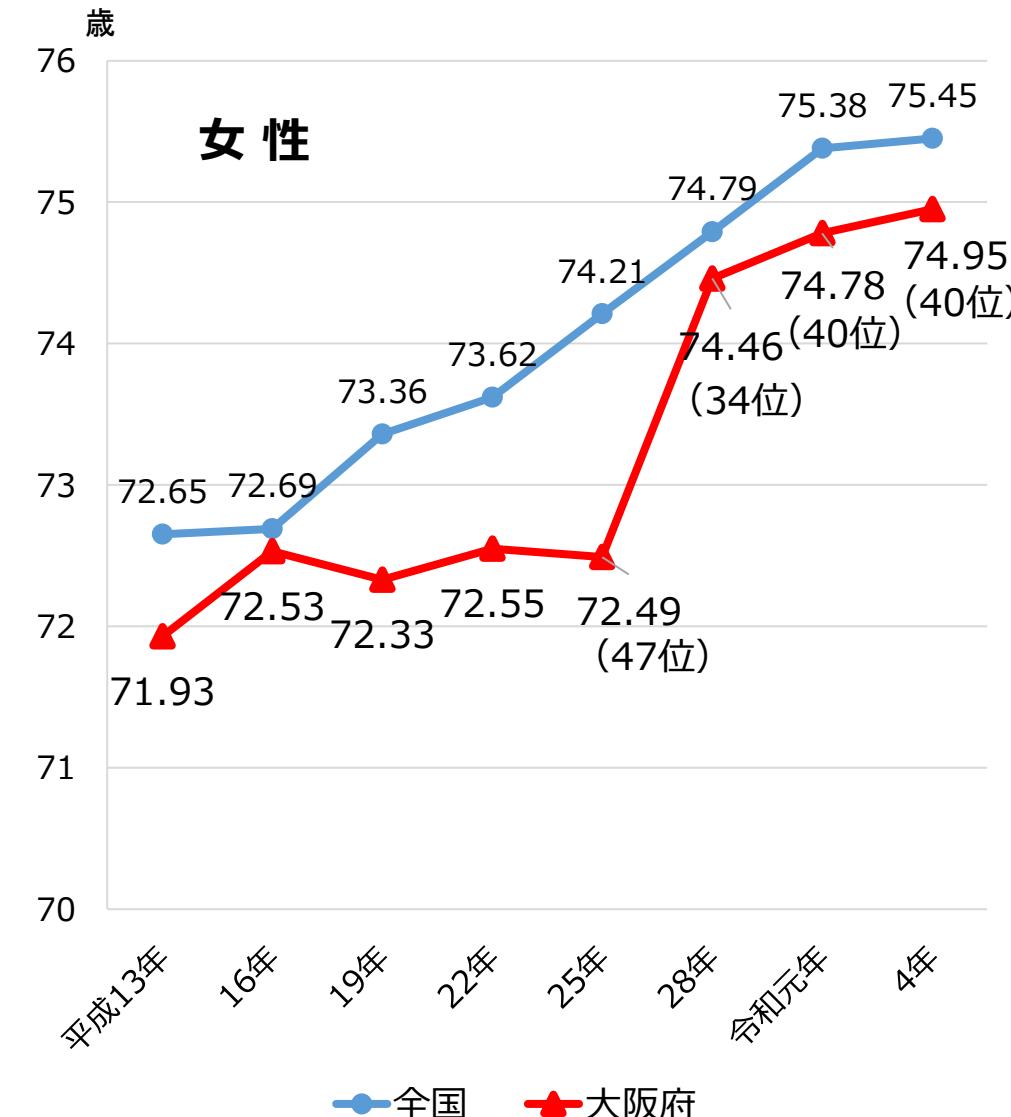
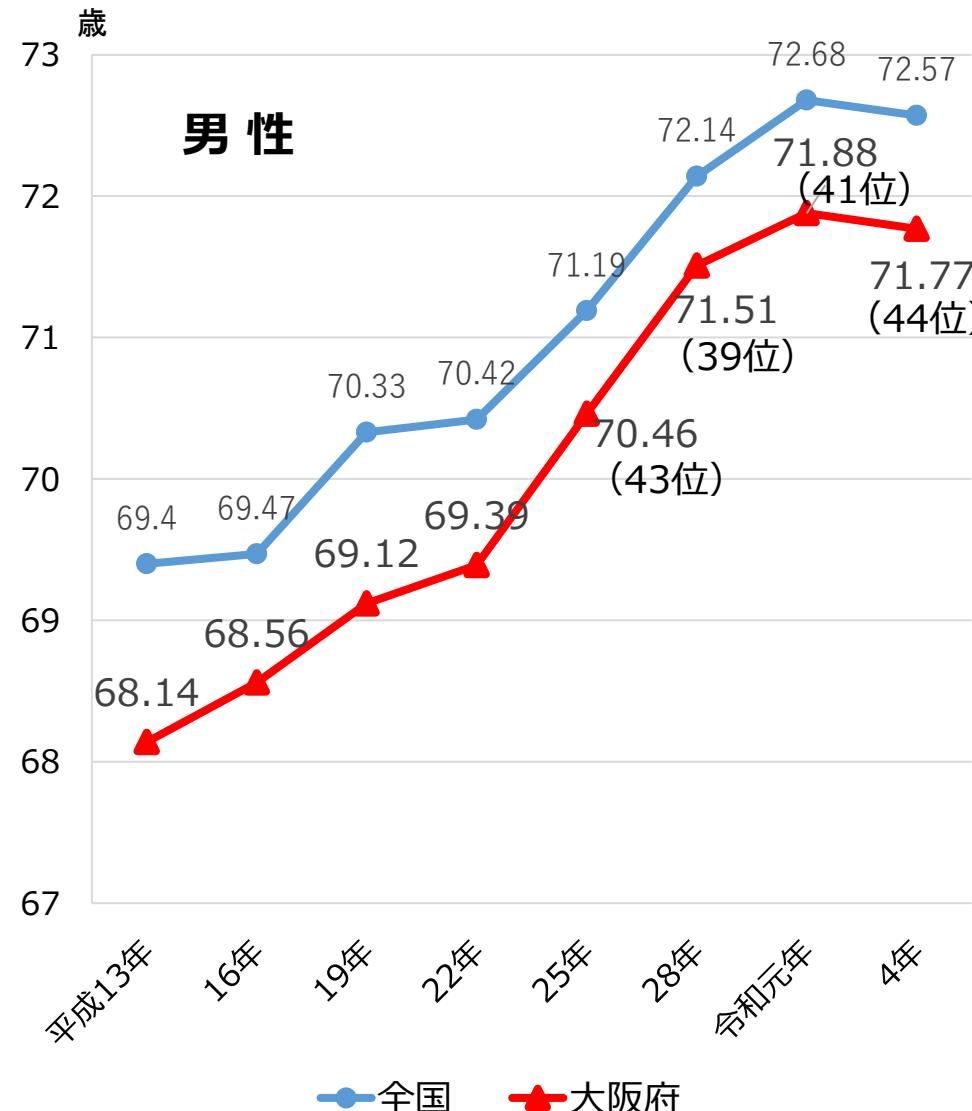
	大阪府健康データダッシュボード	地域健康カルテ
主な対象	府民等（保健医療関係者含む）	地域・職域連携推進事業関係者（保健所、市町村、事業者、医療保険者等）
概要	健康医療情報（地域の人口、寿命、特定健診の結果等）にかかる各指標について、見える化したもの ※自身が選択した指標が見える化される	地域の人口、産業別就業状況、寿命、特定健診の結果等について、地域・職域連携推進にかかる主な指標を見える化しまとめたもの
使用NDBデータ（令和6年度事業）	2019年度及び2020年度の特定健診等	2020年度の特定健診等
データの取りまとめ単位	保健所別、市町村別	保健所別、市町村別
公表時期	2025年3月公表予定	6月28日公表



①-8 健康寿命（国公表値）の推移

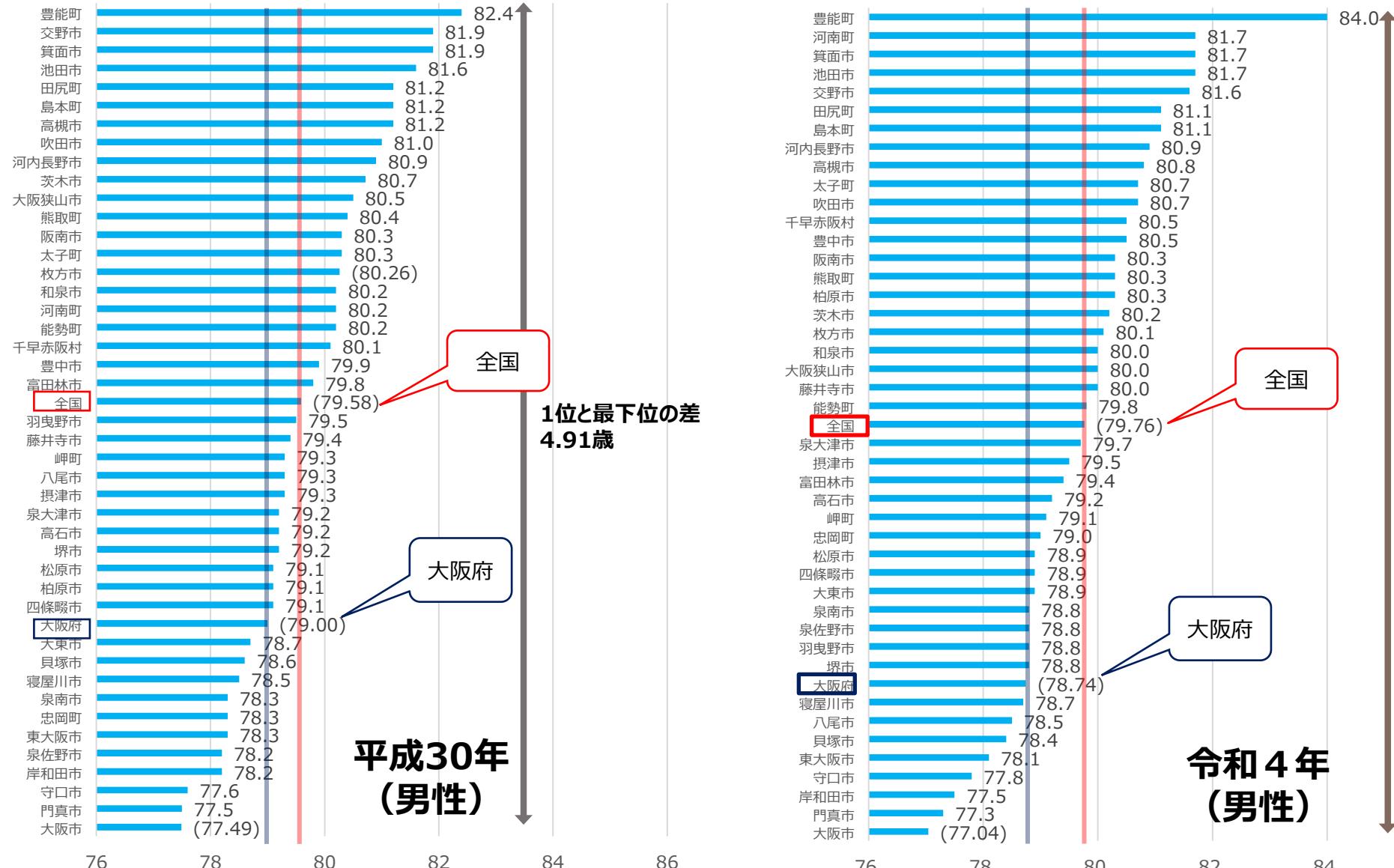
新たに令和6年12月に公表された令和4年の健康寿命は、

男女ともに全国値を下回り、男性は令和元年の値より短くなった



①-9 市町村別健康格差の状況（健康寿命（大阪府算出値）における令和4年と平成30年の比較【男性】）

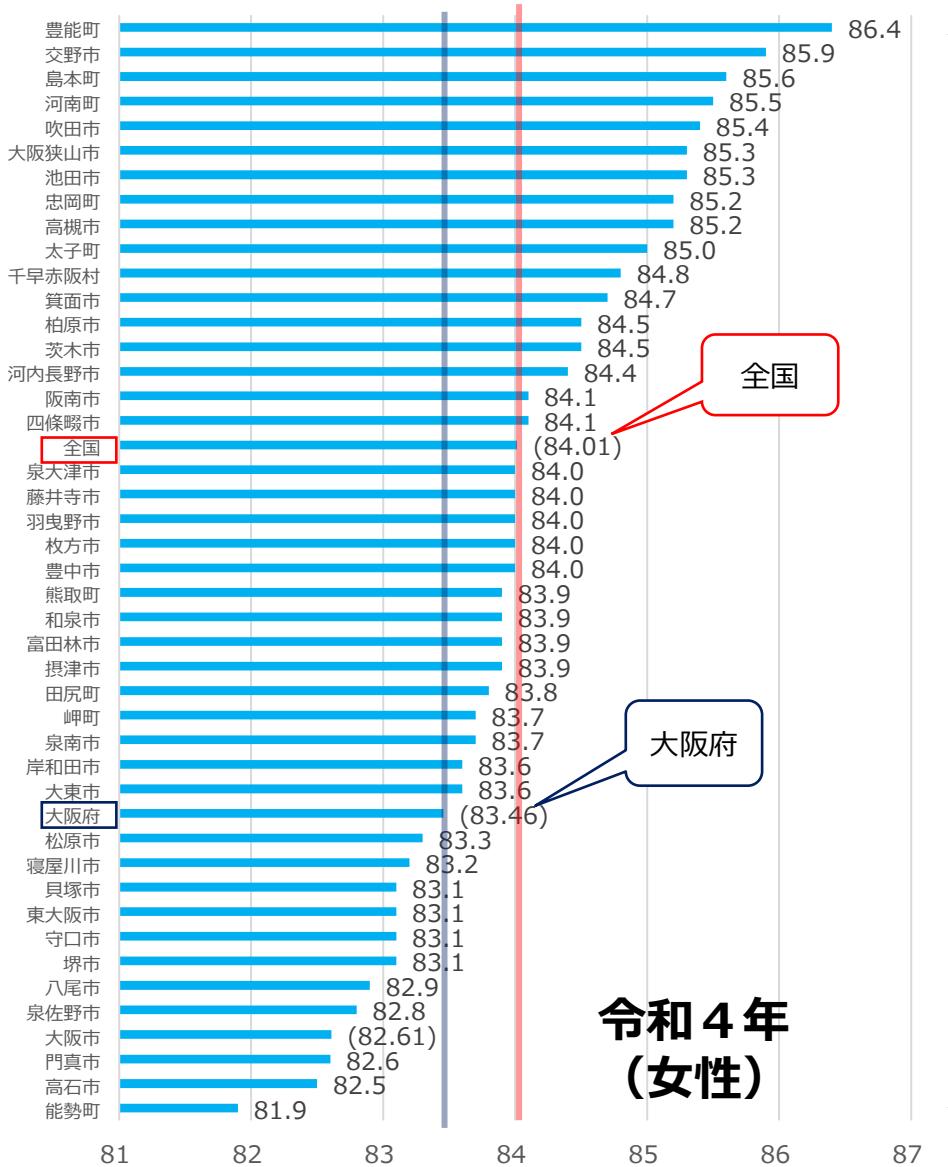
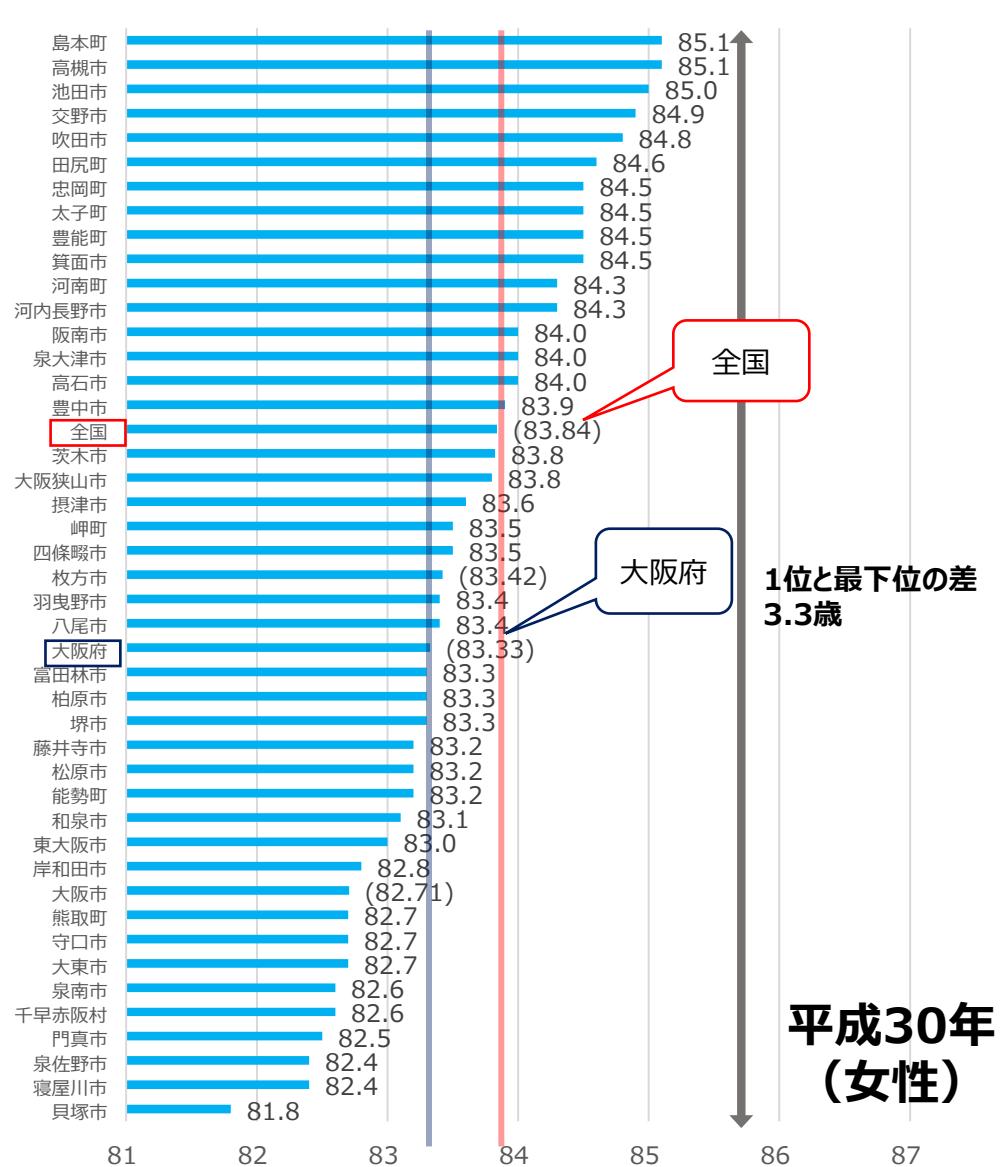
男性における府内市町村間の健康寿命の格差は、平成30年と比較して令和4年で拡大している



【算出方法】
KDBデータを用い算出
(スライド19参照)。
ただし、()内の値は、
KDBデータから算出でき
ないので、厚生労働科
学研究班が示す方法に
基づき算出。
(<http://toukei.umin.jp/kenkoujyumyou>)

①-10 市町村別健康格差の状況（健康寿命（大阪府算出値）における令和4年と平成30年の比較【女性】）

女性においても府内市町村間の健康寿命の格差は、平成30年と比較して令和4年で拡大している



【算出方法】
KDBデータを用い算出
(スライド19参照)。
ただし、()内の値は、
KDBデータから算出でき
ないので、厚生労働科
学研究班が示す方法に
基づき算出。
<http://toukei.umin.jp/kenkoujyuumyou>

<参考>健康寿命の算出方法

【大阪府が市町村別の健康寿命を公表している理由】

- 国は、健康寿命・不健康期間について、都道府県別は公表しているが、市町村別には公表されていない。
- そのため、大阪府では、厚生労働科学研究班が示す算出方法に基づき、市町村別に算出し公表している。

	国公表値	大阪府算出値
使用データ	国民生活基礎調査	介護保険事業状況報告（国保データベース（KDB）システム）等
算出方法	「健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」に「ある」と回答した人を「不健康」、「ない」と回答した人を「健康」として算出	要介護2～5の認定者を「不健康」、それ以外の人を「健康」として算出

$$\text{健康寿命} = \text{平均寿命} - \text{不健康期間}$$

<参考>市町村別の健康格差の状況について

例 (NDB (2020年度特定健診) データ)

男性

二次医療圏	市町村	高血圧%	糖尿病%	脂質異常%	メタボ予備群%	メタボ該当%	メタボ(予備群+該当者)
	市町村計	27.8	9.2	47.7	19.5	25.2	44.7
01豊能	豊中市	24.8	8.6	45.9	18.9	23.2	42.1
01豊能	吹田市	25.4	7.5	47.0	20.0	22.8	42.9
01豊能	池田市	25.4	7.2	47.1	18.9	24.8	43.8
01豊能	箕面市	24.3	9.7	46.7	19.3	24.2	43.5
01豊能	能勢町	34.3	11.6	45.8	18.2	27.8	46.0
01豊能	豊能町	27.3	7.9	45.5	18.6	27.7	46.3
02三島	高槻市	27.6	9.8	46.4	18.6	24.1	42.7
02三島	茨木市	25.0	8.1	45.9	19.0	23.1	42.2
02三島	摂津市	28.4	10.0	48.6	19.8	26.1	45.9
02三島	島本町	27.1	7.8	46.2	19.2	21.0	40.1
03北河内	枚方市	28.3	9.1	46.9	19.4	24.6	44.0
03北河内	寝屋川市	31.4	9.6	48.4	19.5	26.7	46.1
03北河内	交野市	30.5	7.8	47.2	19.0	24.8	43.9
03北河内	大東市	29.1	9.8	48.5	19.2	25.5	44.6
03北河内	四條畷市	30.4	9.1	47.9	18.7	25.0	43.8
03北河内	門真市	31.4	10.1	48.9	20.6	27.6	48.2
03北河内	守口市	28.2	9.3	51.1	19.8	27.3	47.1
04中河内	東大阪市	31.0	9.6	48.6	20.0	26.4	46.4
04中河内	八尾市	28.8	9.8	49.0	20.1	25.8	46.0
04中河内	柏原市	28.9	10.3	46.9	19.6	26.7	46.3
05南河内	松原市	30.4	10.0	49.1	19.8	26.9	46.7
05南河内	羽曳野市	28.2	9.0	48.8	19.9	26.1	46.1
05南河内	藤井寺市	27.4	6.9	47.7	19.7	26.4	46.1
05南河内	富田林市	29.1	9.6	47.7	19.1	26.7	45.8
05南河内	河内長野市	29.1	10.7	42.6	18.6	27.3	45.9
05南河内	大阪狭山市	27.0	8.7	46.8	18.9	26.3	45.3
05南河内	太子町	27.5	11.3	49.4	18.5	25.8	44.3
05南河内	河南町	28.8	8.3	46.7	18.2	24.9	43.1
05南河内	千里赤阪村	23.6	9.4	49.8	18.3	27.3	45.6
06堺市	堺市	27.4	10.4	46.1	19.9	25.9	45.8
07泉州	高石市	25.7	10.4	46.4	19.0	25.4	44.4
07泉州	忠岡町	32.5	8.8	47.5	21.9	26.8	48.7
07泉州	和泉市	29.1	8.7	47.6	19.2	26.8	46.0
07泉州	泉大津市	27.7	10.3	46.7	19.9	26.2	46.2
07泉州	岸和田市	32.8	11.1	48.5	19.9	27.6	47.4
07泉州	貝塚市	31.3	9.5	48.3	20.3	27.3	47.6
07泉州	泉佐野市	30.0	9.1	45.3	20.2	27.1	47.3
07泉州	泉南市	33.9	9.5	47.3	20.0	27.5	47.5
07泉州	熊取町	32.8	9.2	47.5	20.0	28.0	48.0
07泉州	田尻町	27.2	7.7	46.8	20.2	26.6	46.8
07泉州	阪南市	32.3	10.3	49.4	19.3	28.0	47.4
07泉州	岬町	34.8	10.1	44.9	22.1	27.7	49.9
08大阪市	大阪市	26.8	8.9	48.9	19.5	24.5	44.0

女性

二次医療圏	市町村	高血圧%	糖尿病%	脂質異常%	メタボ予備群%	メタボ該当%	メタボ(予備群+該当者)
	市町村計	18.4	3.9	35.2	5.9	6.9	12.7
01豊能	豊中市	16.1	3.9	30.6	5.2	5.5	10.7
01豊能	吹田市	17.2	2.3	34.8	5.6	5.4	11.0
01豊能	池田市	13.8	2.8	36.3	5.7	6.2	11.8
01豊能	箕面市	16.6	4.4	36.3	4.4	5.9	10.3
01豊能	能勢町	26.0	7.2	38.2	6.4	9.0	15.5
01豊能	豊能町	15.2	4.0	43.9	6.4	8.2	14.6
02三島	高槻市	20.1	4.4	35.3	5.6	7.2	12.8
02三島	茨木市	15.7	2.6	33.3	4.9	5.6	10.6
02三島	摂津市	17.5	3.5	35.3	6.2	7.6	13.7
02三島	島本町	17.5	3.9	36.0	4.9	5.3	10.2
03北河内	枚方市	20.0	3.5	35.7	6.0	7.0	13.1
03北河内	寝屋川市	23.2	3.8	38.1	6.5	8.6	15.1
03北河内	交野市	19.3	2.9	36.6	6.7	7.2	13.9
03北河内	大東市	19.8	4.1	37.5	6.6	7.5	14.2
03北河内	四條畷市	19.9	2.7	37.8	6.0	7.6	13.6
03北河内	門真市	22.7	3.4	37.4	7.0	9.5	16.5
03北河内	守口市	17.9	3.2	40.6	6.6	8.0	14.6
04中河内	東大阪市	21.7	4.0	37.6	6.5	7.4	13.9
04中河内	八尾市	19.7	3.9	38.1	6.4	7.8	14.2
04中河内	柏原市	23.2	4.4	37.0	5.4	8.8	14.1
05南河内	松原市	21.7	4.8	37.4	6.1	9.0	15.2
05南河内	羽曳野市	16.1	3.6	38.8	6.0	8.0	14.0
05南河内	藤井寺市	15.8	3.0	38.2	5.9	8.5	14.3
05南河内	富田林市	22.5	3.6	38.1	5.5	7.2	12.6
05南河内	河内長野市	18.0	3.8	26.8	5.2	8.0	13.2
05南河内	大阪狭山市	20.2	3.9	36.9	6.4	7.2	13.6
05南河内	太子町	16.2	4.4	41.0	5.7	6.8	12.5
05南河内	河南町	22.6	4.4	39.0	6.3	9.8	16.1
05南河内	千里赤阪村	15.4	3.8	38.8	8.4	7.0	15.4
06堺市	堺市	16.8	5.3	31.0	6.2	7.2	13.4
07泉州	高石市	15.0	3.9	33.7	5.2	6.7	11.9
07泉州	忠岡町	21.9	4.2	32.9	7.2	8.4	15.7
07泉州	和泉市	20.7	3.6	37.3	5.6	7.5	13.1
07泉州	泉大津市	14.4	3.8	31.9	5.9	7.8	13.7
07泉州	岸和田市	23.8	4.1	37.3	6.0	7.6	13.6
07泉州	貝塚市	24.0	2.9	37.3	6.1	7.5	13.6
07泉州	泉佐野市	17.5	2.9	29.9	6.6	8.5	15.1
07泉州	泉南市	24.4	3.7	37.6	6.8	8.9	15.7
07泉州	熊取町	24.6	2.6	34.6	6.2	6.8	13.0
07泉州	田尻町	14.0	1.5	30.7	7.1	8.5	15.6
07泉州	阪南市	25.3	4.6	38.0	6.6	7.6	14.2
07泉州	岬町	24.3	4.2	36.9	6.5	10.0	16.6
08大阪市	大阪市	16.4	3.5	35.1	5.7	6.1	11.8

①-11 保健所圏域の地域・職域連携推進協議会と健康寿命の状況について（まとめ）

【健康寿命と健康格差の状況】

- 大阪府の令和4年の健康寿命（国公表値）は、男性・女性ともに令和元年と同じく全国値を下回り、男性で44位、女性で40位となっていた。
- 府内市町村間の健康寿命の格差は、男女ともに平成30年と比較して令和4年で拡大していた。

【大阪府から保健所圏域への支援（地域の健康情報の見える化、有識者による支援等）】

- 令和6年6月に地域健康カルテを公表できたが、大阪府健康データダッシュボードの公開が当初より遅れることとなった。
- 2圏域（東大阪市、岸和田保健所）において、有識者による介入支援を実施できた。

【保健所圏域における地域・職域連携推進事業の実施状況】

- 地域・職域連携推進協議会は、全ての府管保健所において開催されたが、政令・中核市においては、9市中、5市の開催となり、すべての市においては開催されなかった。
- 地域・職域連携推進事業は、保健所圏域によって取組数・取組項目に差があったが、府管保健所と政令・中核市において傾向に差はあまり見られなかった

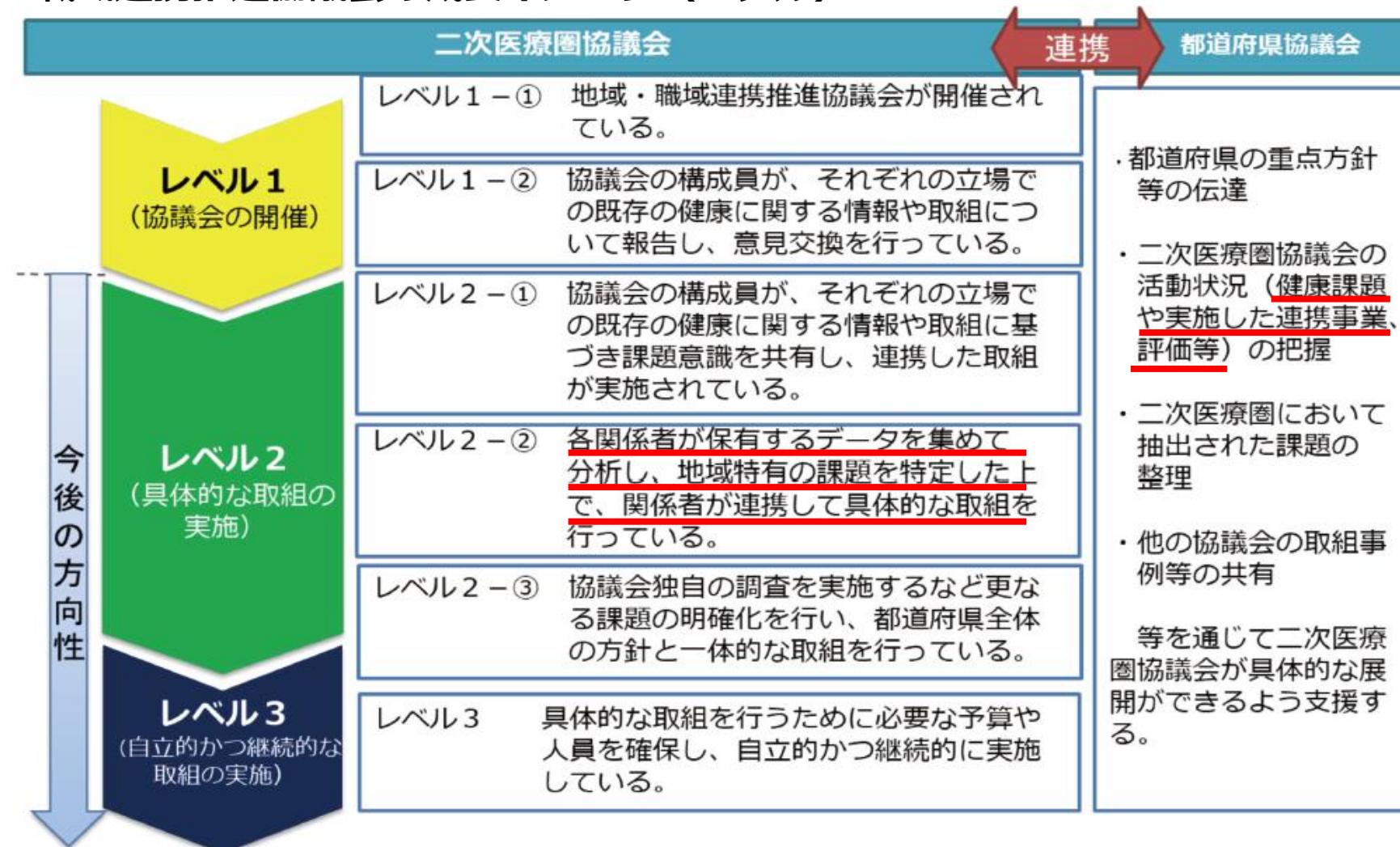
② 地域・職域連携推ガイドラインを踏まえた令和 7 年度の取組み（案）について

②-1 地域・職域連携推進協議会の在り方について

地域・職域連携推進協議会において、

地域特有の健康課題を特定した上で、具体的な取組みを実施することが重要

● 地域・職域連携推進協議会の成長イメージ（モデル）



②-2 地域・職域連携推進事業における取組について

地域・職域連携事業における取組みは、地域の健康課題から、

事業評価のための指標を設定し実施することが重要

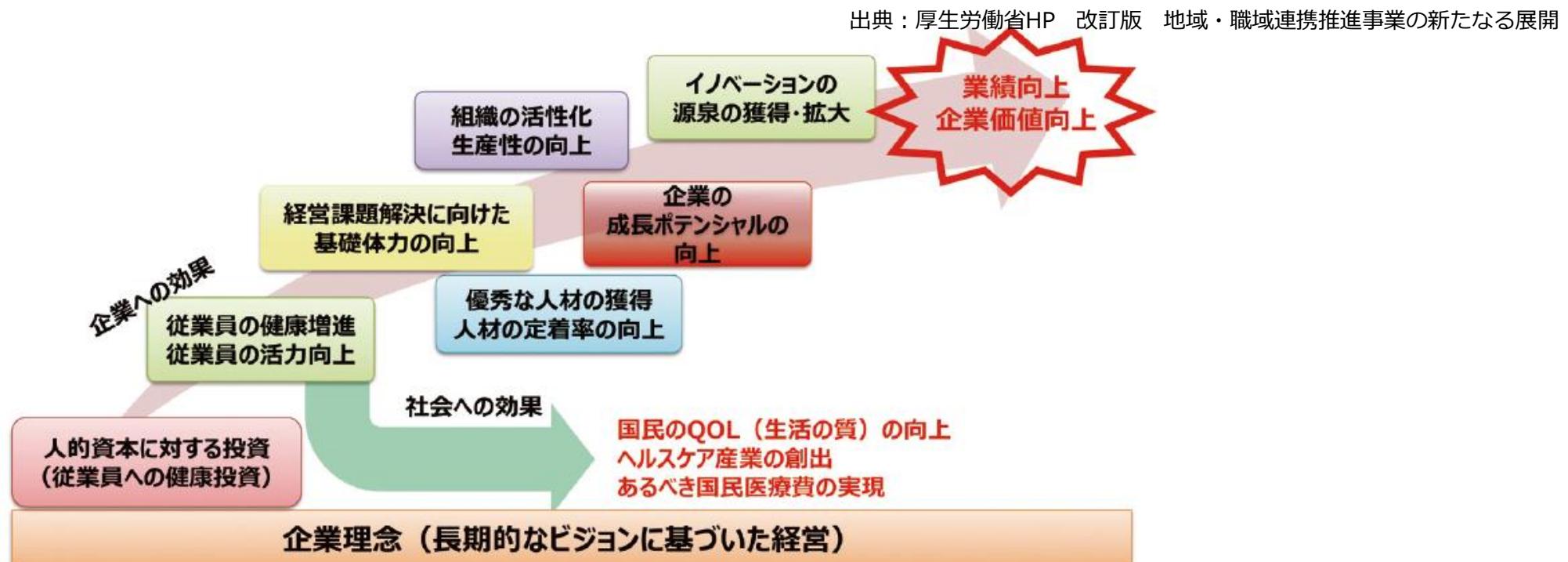
地域・職域の実践例

連携パターン	事業内容	効果
地域・事業者・保険者	<ul style="list-style-type: none">○健康課題を「見える化」し、健康経営を目指した取組<ul style="list-style-type: none">【事業者】<ul style="list-style-type: none">・健康経営事業所登録・認定【保険者】<ul style="list-style-type: none">・事業者・従業員・自治体のデータを「見える化」し健康課題・リスクの整理【地域】<ul style="list-style-type: none">・事業所・自治体の課題を整理し健康経営を目指し協働した取組・保健師の企業訪問による健康課題解決支援・優秀事例の知事表彰、健康経営認定事業所のインセンティブ付与・健康増進事業と連動し職場内や組織間で健康づくりに取り組める体制整備	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣（食事・睡眠・禁煙等）は3年間で改善・塩分摂取量は、4年間で改善・メタボ該当者と予備群の割合は、4年間で改善（全保険者）・健康寿命の延伸は、3年間で男性・女性ともに延伸（全国上位）
地域・事業者・保険者	<ul style="list-style-type: none">○事業所における健康づくりの取組<ul style="list-style-type: none">【事業者】<ul style="list-style-type: none">・従業員の健康づくりに向けた体制整備【保険者】<ul style="list-style-type: none">・業種別の特定健診結果を分析し健康課題を抽出【地域】<ul style="list-style-type: none">・事業所に対する健康づくりの普及啓発及び環境整備（健康づくりの啓発資料の作成・資材の貸出等の整備・事例集の作成・出前検診・講座開催等）・健康づくり事業者表彰・健康増進事業（健康ポイント・ウォーキングマップ等）との連携	<ul style="list-style-type: none">・「食生活」「運動」「嗜好品等」の項目で意識・行動の変化・糖尿病予防は、約7割に意識の変化
地域・事業者	<ul style="list-style-type: none">○社内の健康経営から地域の健康活動への取組<ul style="list-style-type: none">【事業者】<ul style="list-style-type: none">・健康経営事業所登録・認定・身近でできる健康づくりの環境整備と支援体制・健康づくり支援の知識や技術を地域住民に還元【地域（自治体・警察・社協・市民ボランティア等）】<ul style="list-style-type: none">・地域住民等に対する健康づくりに関する啓発等を連携	<ul style="list-style-type: none">・肥満率は、4年間で減少・喫煙率は、10年間で減少・運動習慣（週2～4回）は、5年間で増加・歯科定期健診率は、10年間で増加

健康経営に取組む企業と連携することで、地域・職域連携推進事業を効果的に進めることができる

<健康経営とは（企業自らの取組）>

- 健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考え方の下、健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実施すること。健康投資とは、健康経営の考え方に基づいた具体的な取組をいう。
- 健康経営を目指す姿には、地域での健康づくりと共通するものが多く、ノウハウを共有できる可能性が高い。
地域・職域連携を進めている自治体では、健康づくりにおけるDXの活用、会議体の効率的な運用なども含め、職域で培われたノウハウの活用により、取組の実効性を高めることにつなげてきている。



②-4 令和7年度の健康づくり課の取組（案）

地域の健康情報の見える化にかかる取組みを更に充実させること等により、
多くの保健所圏域・市町村において健康課題に基づく取組みを実施できるよう支援する

<令和7年度の健康づくり課の取組（案）>

①地域の健康情報の見える化

- 地域健康カルテ・大阪府健康データダッシュボードの充実
 - ・NDB（2021年度特定健診データ）を用いた内容の更新
 - ・地域における健康課題の更なる可視化（新たに健康寿命の関連要因分析（社会環境要因含む）を実施）

②有識者等による保健所圏域に対する支援

- 各保健所圏域の地域・職域連携推進協議会への有識者の参加
(必要に応じて、有識者から事業実施にあたり助言)
- 地域・職域連携推進連絡会の開催（第1回令和7年6月頃、第2回令和8年3月頃）

③市町村に対する支援

- 新たに市町村健康づくり担当課長等を対象にした「市町村健康増進事業推進のための説明会（仮称）」を実施

<参考>他都道府県における健康医療データにかかる分析について

■長野県

統計分析から示唆された健康長寿要因

抽出された主な指標名	統計分析による要因のまとめ
・就業率 (男性：5位 女性4位 平成19年)	
・高齢者就業率 (男性：1位 平成19年)	高い就業意欲や積極的な社会活動への参加による生きがいを持った暮らし
・社会活動・ボランティア参加率 (女性：14位 平成18年)	
・習慣的喫煙率 (男性：44位 平成18～22年)	
・野菜摂取量 (女性：1位 平成18～22年)	健康に対する意識の高さと健康づくり活動の成果
・メタボ該当者・予備群の割合 (男性：45位 平成22年度)	
・保健師数 (2位 平成22年度)	高い公衆衛生水準及び周産期医療の充実
・周産期死亡率 (40位 平成22年)	

※分析にあたっては、平成22年の平均寿命・健康寿命との相関を分析しているため、指標についても平成22年以前かつその直近年のデータを使用して分析を実施

■滋賀県

滋賀県の長寿のヒミツはこれだった！？

ヒミツは、健康な生活習慣をもっている人が多く、それを支える生活環境が整っていることです



平均寿命 男性81.78歳(1位)、女性87.57歳(4位)*1
健康寿命 男性79.47歳(2位)、女性84.03歳(3位)*2

【主な病気の死亡率が低い】*3				
性別	がん	心疾患	肺炎	脳血管疾患
男性	2位	21位	12位	1位
女性	14位	26位	10位	2位

平均寿命・健康寿命と生活習慣との関係の深さがわかりました

たばこを吸う人が少ない (男性1位)*4
多量飲酒(飲酒日に1日2合以上の飲酒量)をする人が少ない (男性4位、女性13位)*5
スポーツをする人が多い (男性2位、女性6位)*6
学習・自己啓発をする人が多い (男性5位、女性6位)*6
ボランティアをする人が多い (男性2位、女性4位)*6

滋賀県は、様々な項目がバランスよく全国上位です

生活習慣と生活環境との関係の深さがわかりました

失業者が少ない(2位)*7
労働時間が短い(9位)*8
県民所得が高い(4位)*9
ジニ係数(所得格差)が小さい(2位)*10
図書館が多い(14位)*11
高齢単身者が少ない(1位)*12

※カッコ内は、望ましい状況からの都道府県順位です。

*1 平成27年都道府県別生命表

*2 平成25年厚生労働科学研究費補助金「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」による健糖日本21(第二次)の推進に関する研究報告

*3 平成27年都道府県別前年調整死亡率の概況 *4 平成28年国民健康・栄養調査 *5 平成26年NGBオープンデータ

*6 平成28年社会生活基本調査 *7 平成22年国勢調査 *8 平成28年毎月労働調査地方調査平均

*9 平成25年県民経済計算 *10 平成26年全国消費実態調査所得分布などに関する結果(2人以上の労働世帯)

*11 平成23年社会教育調査 *12 平成27年国勢調査

大阪府における健康寿命延伸に向けた取組について



【凡例】
大阪府の主な取組み

- 健康アプリ「アスマイル」
- 気運醸成（健活10ソング・ダンス）
- 健康キャンパス・プロジェクト事業
- 生活習慣病予防（小児・糖尿病等）
- 働く世代のフレイル予防

健康寿命の延伸
全ての府民が健やかで心豊かに
生活できる活力ある社会の実現



府民

啓発/ヘルス
リテラシーの
向上等

連携・支援 等

- 国保ヘルスアップ支援事業
(共同保険者としての取組み)
- 保健事業独自事業への財政支援

市町村

企業・事業所等

連携・支援 等

- 健康経営セミナー
- 健康づくりアワード
- 特定健診・特定保健指導研修 等

健活おおさか推進府民会議
公民連携の推進
地域・職域連携推進事業

成果の提供

健康データ分析・見える化

(地域健康カルテ/大阪府健康データダッシュボード)

地域・職域連携推進事業と他の健康増進事業を効果的に実施することにより、
健康寿命の延伸・健康格差の縮小を図る